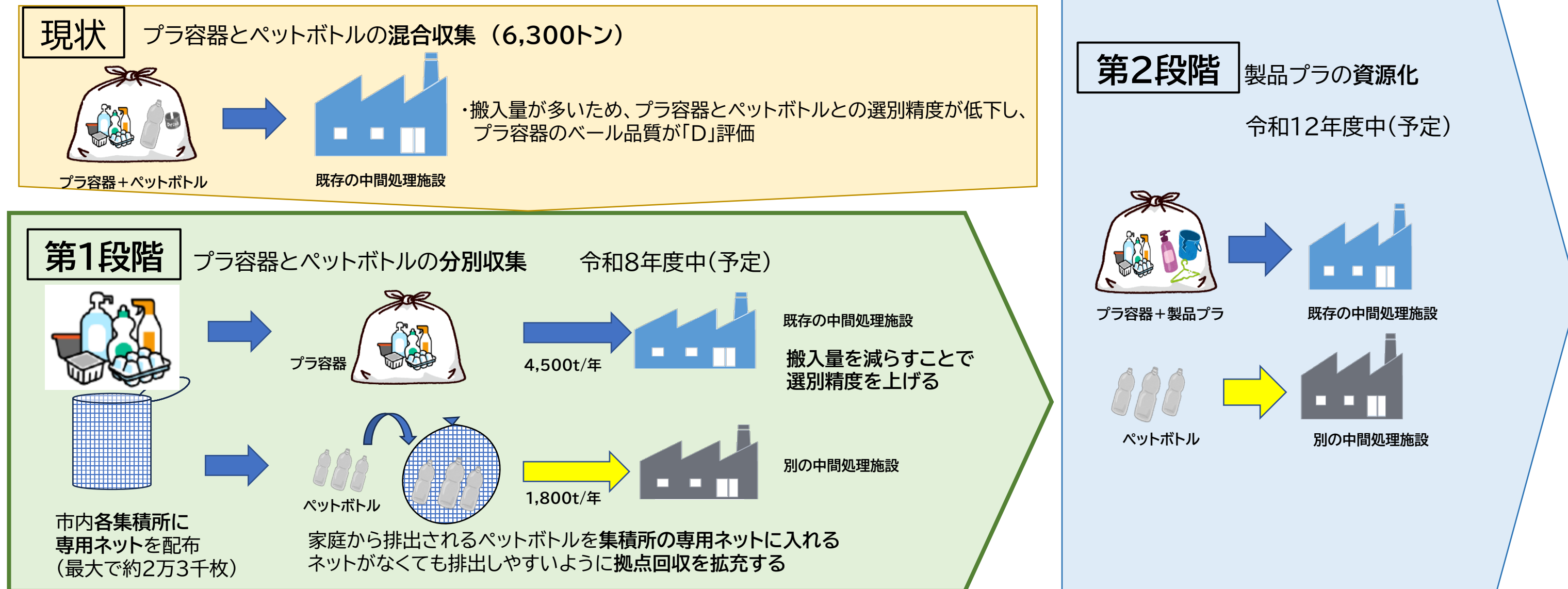


ペットボトル分別収集への移行について

1. 移行理由

(1)焼却処理量(640t/年)の削減	製品プラ資源化のため収集体制を2段階で移行(第1段階:ペットボトル分別、第2段階:製品プラ資源化)
(2)分別意識のさらなる醸成による資源化率向上	可燃ごみに混入している約1.2万tのプラ容器、ペットボトル、製品プラを資源化(資源化率 約9ポイント向上)
(3)容器包装リサイクル協会の評価向上	本市のプラ容器(中間処理後)の品質評価を最低ランク「D」から最高ランク「A」へ

2. 分別収集体制の移行・ペットボトル排出方法



3. 今後のスケジュール案

